

# 平成27年5月 鹿児島県口永良部島の噴火災害への取り組み ～九州地方整備局TEC-FORCE活動～

## 災害対策車両の派遣

全島避難が発令されている口永良部島の状況をリアルタイムで把握及び情報共有できるよう、屋久島には各種災害対策車両を派遣しました。



災害待機支援車は、九州地整の災害対策本部とのTV会議を実施、情報収集車及び小型災害対策車は屋久島からのリアルタイム監視の多重化を実施しました。



災害待機支援車

情報収集車

小型災害対策車 (Ku-SAT搭載)



屋久島永田公園より口永良部島監視

国土交通省 九州地方整備局



←口永良部島

▶ ダッシュボードに設置したカメラからの配信映像

## 緊急災害対策派遣隊 TEC-FORCE Technical Emergency Control FORCE



## H27.5.31新岳より爆発的噴火

※写真は、気象庁HPより



平成27年5月29日09時59分 新岳で爆発的噴火発生  
火砕流が新岳の南西側から北西側（向江浜地区）にかけての海岸まで到達。  
噴煙が火口縁上9000メートル以上まで上がり、火口周辺に噴石が飛散。  
＜噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げ＞

## TEC-FORCE(テック・フォース)とは

TEC-FORCE\*(テック・フォース:国土交通省緊急災害対策派遣隊)は、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、地方自治体からの要請に基づき迅速に出動し、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行うものです。

隊員は、災害対応を経験した職員や、日々現場で技術の研鑽を行っている職員などの全国の国土交通省職員(本省、国土技術政策総合研究所、国土地理院、地方支局、気象庁の職員)の中から選出された災害対応エキスパートで構成されています。



# 平成27年5月鹿児島県口永良部島 噴火災害への取り組み ～九州地方TEC-FORCE活動～

## ■噴火発生の翌日には、屋久島中継所に固定カメラを設置し24時間監視を開始、映像を屋久島町役場へ配信



地上から約70m(標高約670m)の場所に固定カメラを設置



口永良部島

中継所から口永良部島(新岳)まで約20km

※屋久島中継所は、本土から沖縄への専用回線を繋ぐための中継基地(沖縄総合事務局管理)



▲Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)カメラ映像をリアルタイムに配信

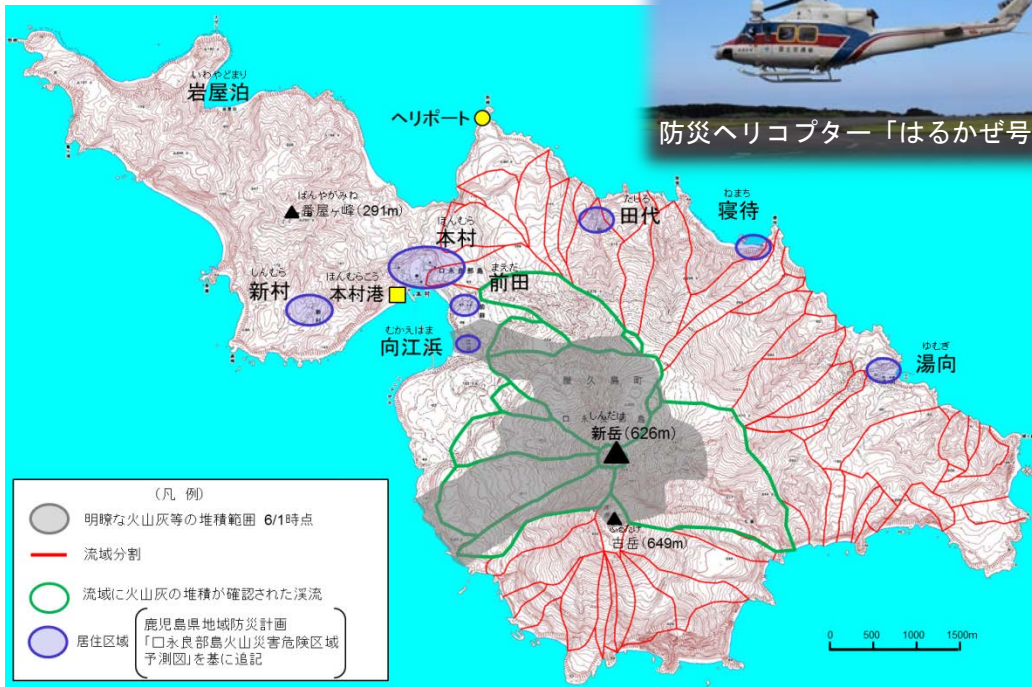
固定カメラの映像は、光ファイバ回線を使って九州地整へ伝送、この伝送された映像をWEBを利用して屋久島町役場へ配信しています。



映像配信モニター↓

屋久島町役場

## ■防災ヘリコプター「はるかぜ号」による土砂流出調査、一時入島の支援を実施



防災ヘリコプター「はるかぜ号」

九州地整はるかぜ号から撮影



「はるかぜ号」から土砂流出状況を把握

「はるかぜ号」から噴火監視を行い一時入島を支援



【ヘリ位置】鹿児島県熊毛郡屋久島町

【撮影位置】

## ■海上保安庁と連携

口永良部島への一時入島の際に、防災ヘリコプター「はるかぜ号」で噴火監視の支援を行っていますが、海上でヘリコプターを効果的に運用するには「連携」が大きな力を生みます。

7月の一時入島の際には、第十管区海上保安本部巡視船と連携し口永良部島近海で「はるかぜ号」に給油、効果的に監視支援を実施できました。



巡視船に着艦し、給油中の防災ヘリ「はるかぜ号」